

## 第6学年国語科学習指導案

日 時 平成17年 9月 8日(木) 5校時  
場 所 第二音楽室  
児 童 6年2組 男19名 女16名 計35名  
指導者 千田 万里子

- 1 単元名 共に考えるために伝えよう  
教材名 みんなでつくる学校

### 2 単元設定の理由

#### (1) 児童観

6年2組の子どもたちには、課題をしっかりと取り組もうとする子が多い。全体の場で自分の考えを発表することに抵抗を感じている子どもが多かったが、「話すこと・聞くこと」の学習をとおして、話すことに自信をもち積極的に話す子どもが増えてきている。

「話すこと」については、6年生の「学級討論会をしよう」の単元で、自分の考えをもち、説得力のある話し方をすることを学習した。肯定派・否定派の両方の立場に立って、結論を先に述べたり具体例を出したりして自分の考えを話す力がついてきている。自分の主張を説得力のあるものにするために根拠をふまえたり、主張の最後に自分の思いを効果的に伝えたりする力も徐々にではあるがついてきている。また、「1分間スピーチ」という、自分の身近な話題を具体的に話す活動に日常的に取り組んでいる。活動を通して、話題を明確にして感じたことや思いを話すことができるようになってきている。事前テストの結果からも自分の思いを話すことができる児童が多いといえる。しかし、その内容を見てみると、はじめ・中・終わりを意識して話を組立てたり、具体例や根拠を明らかにして話したりする力が不十分である。「聞くこと」については、「聞くことのあいうえお」をもとに継続して指導してきた。「学級討論会をしよう」では、相手の主張を受けて深めた自分の考えを発表する力がついてきている。しかし、相手の話を聞いてさらに詳しく聞く力や相手の思いに共感しながら聞く力は十分についているとはいえない。

「書くこと」については、6年生の「ガイドブックを作ろう」の単元で修学旅行ガイドブックを作成した。修学旅行で訪れた場所について、読み手を意識して書く力がついた。しかし、書く内容を選んだり、全体の構成を工夫したりして書く力は十分に身につけているとはいえない。

#### (2) 教材観

本単元の主な指導内容は、「話すこと」では、調べた情報をもとに組立てを考え、具体例を入れて、資料を示しながら聞き手の反応を見て自分の提案を分かりやすく話すこと、「聞くこと」では、みんなの提案を聞き疑問点を明らかにすることとその提案をよりよくするために自分の意見を伝えること、「書くこと」では、みんなからの意見を取り入れ自分の提案を修正し、さらに分かりやすくするために文章全体の組立てを考え、調べた事実と自分の意見を区別しながら提案文書を書くことである。

本教材では、「ユニバーサルデザイン」「自分たちの生活をよりよいものに」という考えから、最高学年としてこれまでの活動や学校生活を振り返り、自分たちの学校をよりよい学校にする提案を行う。「さらにすばらしい学校にしたい」と思うことは最高学年として当然の思いであり、その思いがあるからこそこの活動に意欲的に取り組むことができる。意欲的にこの活動に取り組むことで子どもたちは本単元で目標とする「話すこと・聞くこと」そして「書くこと」の力を確実に身につけることができる。また、「これからの学校がどうあるべきか」ということを真剣に考えいろいろな提案をすることにより、最高学年として委員会活動や行事の中心として先頭に立って活動してきた6年生の最高学年としての自覚をこれまで以上に高めることができる。よりよい学校にするためにいろいろな提案をすることにより、母校への愛校心がさらに強くなり、自分たちの提案で学校がさらによくなったという実感を持つことができる。以上のことから、本教材は有効な教材であると考えられる。

### (3) 指導観

「話すこと・聞くこと」「書くこと」の言語活動への関心・意欲・態度を高め、指導と評価の一体化を図り、本単元のねらいに迫るために、以下のことを指導の手立てとして位置づけた。

関心を喚起するために

- ・ 最高学年としてよりよい学校をつくるという目的意識を明確に持たせる。
- ・ 具体的提案を全校に、特に5年生、4年生、先生方に行うという相手意識を明確に持たせる。
- ・ 単元全体の学習活動（提案内容を考える 調べる 学級に提案する 提案に意見を出す 学級の意見を取り入れ 提案文書を作る 全校に提案する）の流れを知らせ、学習の見通しを持たせる。

意欲を持続するために

- ・ 提案のポイント を具体的に示し、そのポイントを常に意識し活動させる。
- ・ 調べ学習の際には、提案内容が似ている子どもたちでグループを作り、これまで学習してきた調査方法からふさわしい方法を選ばせる。
- ・ 参考資料を準備し、その参考資料をもとに発表原稿を作らせる。
- ・ 原稿作り、発表練習そして話し合いの際には、提案内容と発表技術の優れた点を教師が認め、さらに子どもたち同士で認め合うようにさせる。

態度を育成するために

- ・ 提案のポイント を具体的に示し、そのポイントを常に意識し活動させる。
- ・ 参考資料を準備し、その参考資料をもとに提案文書を作らせる。
- ・ 提案文書を学級内で交流することにより、提案内容と記述の仕方の優れた点を教師が認め、さらに子どもたち同士で認め合うようにさせる。
- ・ でき上がった提案文書を校舎内に掲示したり、5年生、4年生、先生方に配布したりすることにより、達成感や成就感を持たせる。
- ・ 全校に提案したあと、その全校の反応を受けて、児童総会の場で提案するもの、先生方に提案するもの、6年生としてできることに分け、さらに具体的に行動するという今後の見通しを持たせる。

指導と評価の一体化を図るために

- ・ 毎時間の具体的評価規準をもとに、優れた活動を全体で称賛し、具体的参考例として全体に広める。
- ・ 学習プリントや原稿などに目を通し、優れている点を評価し足りない部分を具体的に支援する。
- ・ 具体的評価規準をもとに、達成できている部分と達成できていない部分を把握し、次時以降の補充指導や指導の工夫に生かす。

### 3 単元の指導目標

「多くの人が使えるように」をきっかけに学校生活を見直し、よりよい学校にするために調べたことを交流して深まった考えをまとめ、これからの学校生活に生かそうとする。

### 4 単元の評価規準(B)

ア 国語への関心・意欲・態度	関心	学校生活を振り返り、よりよい学校生活にしていくことに興味を持ち、よりよい学校にするための提案を考えようとしている。	
	意欲	情報を進んで集め、その情報をもとに分かりやすい提案をしようとしている。友だちの提案をよりよくするための質問や意見を出そうとしている。	
	態度	話し合いで深まった考えを分かりやすく提案文書に書き、具体的な提案を全校に向けて発信しようとしている。	
イ 話す・聞く能力	構成要素	1	自分の提案したい内容を考え、提案内容を具体的に調べることができる調査方法を選び詳しく調べている。
		2	調べたことを具体例や根拠として取り入れ、話の組立てや資料提示の仕方を工夫して提案している。
		3	友だちの提案を聞き、疑問点を明らかにしたり、その友だちの提案がよりよくなるような意見を話したりしている。
ウ 書く能力		文章の組立てを工夫したり、事実と意見を区別したりして、話し合いによって深まった自分の考えを提案文書に書いている。	
エ 言語についての知識・理解・技能		提案の話し方と提案文書の構成の仕方を理解している。	

5 単元の指導計画（話す・聞く 10時間 書く 4時間 計 14時間）

時間	主な学習活動	具体的評価規準（B）と【評価方法】	指導の手立て
第一次	第1時 教材文を読み、学習の見通しを持つ。	ア - 「自分たちの暮らしをよりよいものにする」「よりよい学校にする」という考えを理解し、これからの活動への意欲を持つようとしている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 「自分たちの生活をよりよくする」という意味と「ユニバーサルデザイン」という考えを具体的に考えさせる。 ・ 最終目標や、目的意識と相手意識を確認させる。
	第2時 学校をよりよくするための提案を決める。	ア - みんなで考えたものを参考にしながら自分の提案を考えようとしている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】 イ - 目的にふさわしい自分の提案を決めている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 目的意識を明確に持ち、個人でイメージマップを作り、それをもとに学級全体でイメージマップを作ること考えを交流させる。 ・ みんなで考えたものを参考にして自分の提案を考えさせる。
第二次	第3時 自分の提案を具体的にするための調べ学習の計画を立てる。	イ - 提案をより具体的にするために、その提案に有効な調査方法を選び、調べ学習の計画を立てている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 提案のポイント を具体的に理解させる。 ・ 提案内容が似ている子どもを同じグループにする。グループの中に活動の中心となる子どもを配置する。 ・ 調べる方法を具体的に紹介して選ぶ際の参考にさせる。
	第4時 調べ学習の計画に従い調べ学習の準備をする。	ア - 自分の提案に必要な情報を集めるために、提案に応じた調べ学習の準備をしようとしている。【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ どんな情報が必要なのか、どのようにして情報を引き出すのかを自分の提案をもとに考えさせる。 ・ 調べ学習のよりよい方法を詳しく紹介し参考にさせる。
	第5時 実際に調べ情報を集める。	イ - 調べ学習の計画に従って、自分の提案に必要な情報を集めている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 前時に考えた計画や内容に無理や無駄がないかどうか確認し、よりよい学習になるように具体的に指示を出す。 ・ 調べ学習の様子を見て必要な情報を集めることができるように具体的に支援する。
第三次	第6時 情報をもとに自分の考えをまとめ、発表の準備をする。	イ - 調べたことを具体例や根拠として取り入れ、話の組立てを考えた発表原稿を作っている。【活動の観察】 【発表原稿とメモの記述の把握】 エ - 提案の話の組立て方を理解している。【発表原稿の記述の把握】	・ 発表原稿の資料の具体例を何種類か提示し、それを参考にして発表原稿を作らせる。 ・ 提案のポイント を確認し発表原稿を作らせる。 ・ 発表原稿の資料を数種類準備し説明する。
	第7時 提案の発表練習をする。  (本時)	ア - 話し方についてアドバイスをしようとしている。【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】 イ - 資料を見せるタイミングを考え、聞く人の様子確かめながら話している。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	・ 提案のポイント を確かめてから練習させる。 ・ 3人組で練習することで練習回数を確保する。 ・ すぐれた発表を紹介し、具体的にそのよさを全体の場で確認して発表練習に生かす。

第三次	第8時	1回目の意見交換会を行う。	ア - 友だちのアドバイスを取り入れ分かりやすい提案をしようとしている。友だちの提案がよりよくなるように質問や意見を考えようとしている。 【活動の観察とビデオでの記録】 【学習プリントの記述把握】	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習の時のよさを思い出し、アドバイスを受けて改善したことを確認して自信を持たせる。</li> <li>全体の話し合いの前に小グループの話し合いを入れることにより話しやすい雰囲気を作る。</li> </ul>
	第9時	2回目の意見交換会を行う。	イ - 提案の内容を、具体例を入れ、根拠を明らかにし、資料を見せるタイミングを考え、聞く人の様子確かめながら話している。 【活動の観察とビデオでの記録】	<ul style="list-style-type: none"> <li>第7時の練習を生かして提案発表をする。提案している途中に発表が途切れたりする場合には具体的に支援する。</li> </ul>
	第10時	3回目の意見交換会を行う。	イ - 友だちの提案を聞いて、疑問点を明らかにしたり、その提案がさらによくなるような意見を話したりしている。 【活動の観察とビデオでの記録】 【学習プリントの記述の把握】	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案内容の概要を事前に全体に知らせて、疑問点や意見を事前に考えさせる。全体で話し合う前に小グループで話し合うことで、さらによりよい考えを持てるようにする。</li> </ul>
第四次	第11時	提案文書の書き方を知り、意見交換会の結果をもとに自分の考えをまとめる。	ア - 提案文書の書き方を知り、これからの活動の見通しを持つようとしている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】 エ - 提案文書の構成の仕方を理解している。 【活動の観察】 【提案文書の記述】	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考になる資料を準備し、提案文書の具体像をつかませる。これからの活動の見通しを具体的に伝える。</li> <li>参考資料をもとに詳しい書き方をつかませる。評価は次時以降の提案文書を見て行う。</li> </ul>
	第12時	提案文書を書く。	ウ - 文章の組立てを考え、事実と意見を分けて、話し合いによって深まった自分の考えを提案文書に書いている。 【提案文書の記述】 【活動の観察】	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案のポイントの提案を簡潔に一文にまとめること、前書きを考えること、提案理由を考えることを確認し、参考例をもとにして書かせる。</li> <li>優れた提案文書を紹介し、そのよさを全体に広める。</li> </ul>
	第13時	提案文書を読み合い、アドバイスをする。	ア - 友だちの提案文書を読みよい点とアドバイスを伝えようとしている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの提案のよいところを伝え自信につなげる。</li> <li>実際の提案文書と参考資料を比較しながら足りない部分をアドバイスさせる。</li> <li>優れた提案文書のよさと優れたアドバイスのよさを全体に広める。</li> </ul>
	第14時	アドバイスをもとに、よりよい提案になるよう加筆修正する。	ア - これからの具体的な行動を理解し、今後の活動への意欲を持つようとしている。 【活動の観察】 【学習プリントの記述の把握】 ウ - 友だちのアドバイスを取り入れ提案文書を修正している。 【提案文書の記述】	<ul style="list-style-type: none"> <li>これからの取り組みを分かりやすく説明して見通しを持たせる。</li> <li>この活動で成長した力を個人と全体で確認する。</li> <li>よいアドバイスとそのアドバイスによって変わったよい提案の書き方を全体に紹介する。</li> </ul>

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

資料を使いながら、調べたことや自分の考えを分かりやすく話すことができる。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	・指導上の工夫と評価
導入     5分	<p>1. 提案するときのポイントを想起する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;提案のポイント&gt;</p> <p>その一 はじめ・中・終わりを意識する                      その二 出だしを工夫する                      その三 具体例を入れる                      その四 根拠を明らかにする                      その五 結論が分かるようにする                      その六 資料を見せるタイミングを考えて話す                      その七 聞く人を見ながら話す(様子確かめながら) その八 前書きを工夫して書く                      その九 提案を短く書く                      その十 提案理由に具体例や根拠を入れて書く</p> </div> <p>2. 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話し手：分かりやすい提案になるように練習をしよう。                      聞き手：分かりやすい提案になるようにアドバイスをしよう。</p> </div> <p>・目的意識：滝二小をさらによりよくするため                      ・相手意識：全校に(学級に)</p>	<p>・ &lt;提案のポイント&gt;をもとに、聞き手に分かりやすい提案の仕方について想起させる。</p> <p>・ 最終的な目標は、全校に自分の考えを提案し、学校生活に生かしていくことであることを確認して本時の意欲を高める。</p>
展開          35分	<p>3. 提案を分かりやすく発表するために大切な今日のポイントがその二からその七であることを確認する。</p> <p>4. 1回目の発表練習をする。</p> <p>5. よい提案の発表を紹介し、目指す提案の仕方を全体で確認する。</p> <p>6. 2回目の発表練習をする。</p>	<p>・ 目指す提案の仕方が明確になるように確認する。</p> <p>・ 本時では、&lt;提案のポイント&gt;のその六とその七を重点化して練習する。どちらかを選んで練習したり、アドバイスをしたりすることを確認する。</p> <p>・ 3人組になり、役割を交代しながら練習をする。</p> <p>・ 話し手は自分が気をつける&lt;提案のポイント&gt;を聞き手に伝えてから発表練習をする。</p> <p>・ 聞き手は&lt;提案のポイント&gt;その六またはその七に沿って評価し、それを話し手に伝える。評価したことをもとに発表資料の下にある評価欄にシールを貼る。また、&lt;提案のポイント&gt;その二からその五をもとに、伝えたい内容が分かりやすいかどうかアドバイスをする。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価ア</span>      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価イ</span> </p> <p>・ 1回目の発表練習を見て、2回目に学級全体として高めたい&lt;提案のポイント&gt;がしっかりできている子どもの発表を紹介することで、どのような発表がよいか具体的に確認する。</p> <p>・ 2回目の練習では、1回目の発表練習とアドバイスをもとに、個人で&lt;提案のポイント&gt;からめあてを設定し、発表練習をすることを確認する。</p> <p>・ 1回目と同じ方法で練習する。</p> <p>・ 聞き手は1回目と同じように評価したり、アドバイスをしたりする。</p> <p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価ア</span>      <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価イ</span> </p>
まとめ 5分	<p>7. 学習を振り返る。</p> <p>8. 次時の見通しをもつ。</p>	<p>・ 発表練習のできたことを挙手で振り返る。</p> <p>・ 本時のめあてに対しての振り返りを書き、それを発表し合うことで本時の学習に対しての成就感を持たせる。</p>

(3) 評価と支援

【観点】	【具体的評価規準】	【評価に応じた支援】
ア	<p>A 友だちの話す内容のよさに気づき、アドバイスをしようとしている。</p> <p>B 話し方についてアドバイスをしようとしている。</p>	<p>A アドバイスのよかったところを具体的にほめる。</p> <p>C &lt;提案のポイント&gt;をもとに、話し手のよい点を確認する。 友だちのアドバイスを参考にする。 よいアドバイスを全体で確認する。</p>
イ	<p>A 友だちのアドバイスをもとに、提案の内容を工夫して、自分の提案が伝わるように分かりやすく話している。</p> <p>B 資料を見せるタイミングを考え、聞く人の様子確かめながら話している。</p>	<p>A よいモデルとして広め、具体的にほめる。</p> <p>C &lt;提案のポイント&gt;を、練習のときに確認する。 よい発表のモデルを広める。 モデルをもとに、具体的にアドバイスをす</p>

(4) 板書計画

みんなでつくる学校

話し手

- 一人目の発表
- アドバイスを受ける。
- 二人目の発表
- アドバイスを受ける。
- 三人目の発表
- アドバイスを受ける。

聞き手

- 発表を聞き、アドバイスをメモする。
- アドバイスをし、評価シールをはる。
- 発表を聞き、アドバイスをメモする。
- 発表を聞き、アドバイスをし、評価シールをはる。
- 発表を聞き、アドバイスをメモする。
- 発表を聞き、アドバイスをし、評価シールをはる。

発表練習の仕方

- その一 提案のポイント
- その二 はじめ・中・終わりを意識する
- その三 出だしを工夫する
- その四 具体例を入れる
- その五 根拠を明らかにする
- その六 結論が分かるようにする
- その七 資料を見せるタイミングを考えて話す
- その八 聞く人を見ながら話す（様子確かめながら）
- その九 前書きを工夫して書く
- その十 提案理由に具体例や根拠を入れて書く

目的：滝一小をさらによりよくするため  
相手：全校に（学級に）

話し手：分かりやすい発表になるように練習をしよう。  
聞き手：分かりやすい提案になるようにアドバイスをしよう。

自分の発表を学習プリントでふり返る。早く終わったら、アドバイスを  
もとに、個人で練習をする。